

■米国：22 州で RPS 見直しの動き

2013 年 3 月 25 日付の報道によると、22 州で再エネ利用基準（RPS）を見直す動きが見られている。現在のところ見直しを行った州はないものの、再エネ導入拡大に関して経済性等の観点から反対意見が出てきている。具体例として挙げられているのは、2020 年までに 20%の再エネを導入することとしているカンザス州で、順守期間を 2024 年まで延長する法案が提出されたことや、ワシントン州やモンタナ州で、現在 RPS 対象となっていない水力を含めることにより、RPS 制度を弱めようとする法案が提出されたこと等である。なお、米国では現在、29 州とワシントン DC が RPS 制度を導入している。